

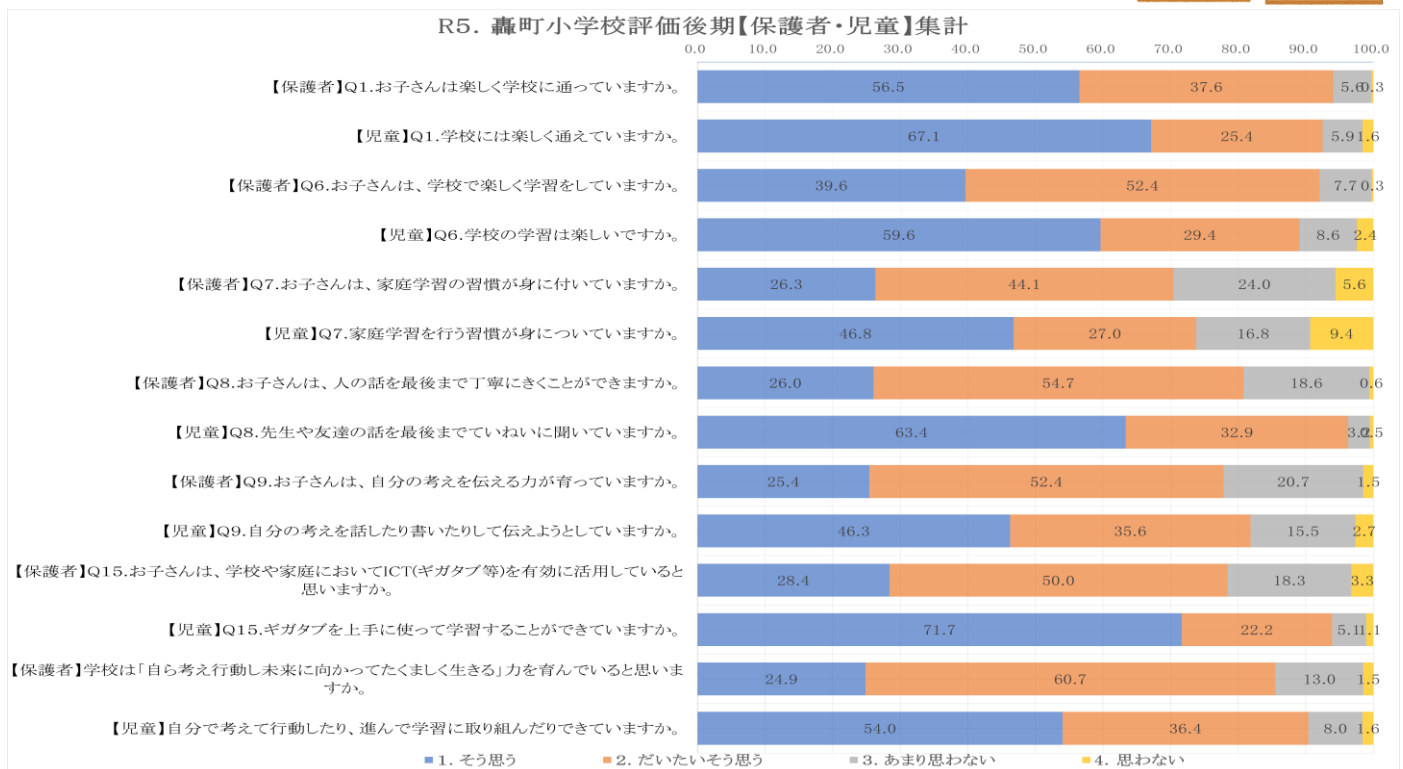
令和5年度轟町小学校【学校評価】結果・考察の報告

ご協力いただきました学校評価のアンケート結果が、下記のとおりまとまりましたので、その考察とともにお知らせいたします。来年度も、「誰一人取り残さない 一人一人を大切に作る教育」を基本理念に、「自ら考え行動し未来に向かってたくましく生きる子供の育成」を学校教育目標に据え、「挨拶と温かい言葉が行き交う楽しい学校」を目指し、全教職員で一人一人の子供の能力を伸ばしていきたいと考えております。今後も、保護者の皆様の声に耳を傾け、さらに充実した教育活動が実践できるように努力して参りますので、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

学校教育目標 **自ら考え行動し 未来に向かって たくましく生きる子供の育成**

【知育】 進んで学ぶ子 ～自分で考え判断し主体的に活動する子～

学びの楽しさと確かな学力の定着を図る『わかる授業』 学びづくり を 目指します。



Q1「学校に楽しく通っている」の問いに対して、「そう思う」「少しそう思う」という回答(肯定的回答、以下同様)は、保護者94%、児童92%以上と、学校として有難い数字です。「学びの楽しさ」を児童が感じているかを計る数字、Q6「学校で楽しく学習している」の肯定的回答は89%と、昨年度より2ポイント上がりました。様々な教科や場面で積極的に導入している ICT(ギガタブ等)によって、「学び(特に主体的な活動)が楽しい」と感じる児童が増えたと考えられます。Q15「ギガタブを上手にを使って学習する」の児童の肯定的回答93%からもそう感じられます。一方、「誰一人取り残さない教育」を基本理念に掲げている中、Q6における10%の否定的な回答をしている児童に目を向けていく必要が、学校にはあると考えます。児童一人一人の実態や学力に応じた学習支援体制(様々な体験学習や専科授業、少人数指導の導入や個別指導等)づくりや、「わかる授業」のための教材研究を教職員一同より進めて参ります。そして引き続き自ら考え判断し、主体的に活動できる児童の育成を目指していきます。Q7「家庭学習を行う習慣を身に付けている」の肯定的な回答が保護者70%、児童73%については、共働き等お忙しい家庭の状況、習い事などで家庭学習の時間を確保する難しさ等を鑑みると、理解できる数値です。学校としては、宿題について学年や学習進度に応じた量や頻度、内容(音読や計算カードなど習慣化、継続することによって身に付く実感を伴うものも含む)で提供することに努めて参ります。ご家庭においてはそれらも活用しながら、学校との「協働」でお子さんの「学習習慣獲得」を目指して参りたいです。

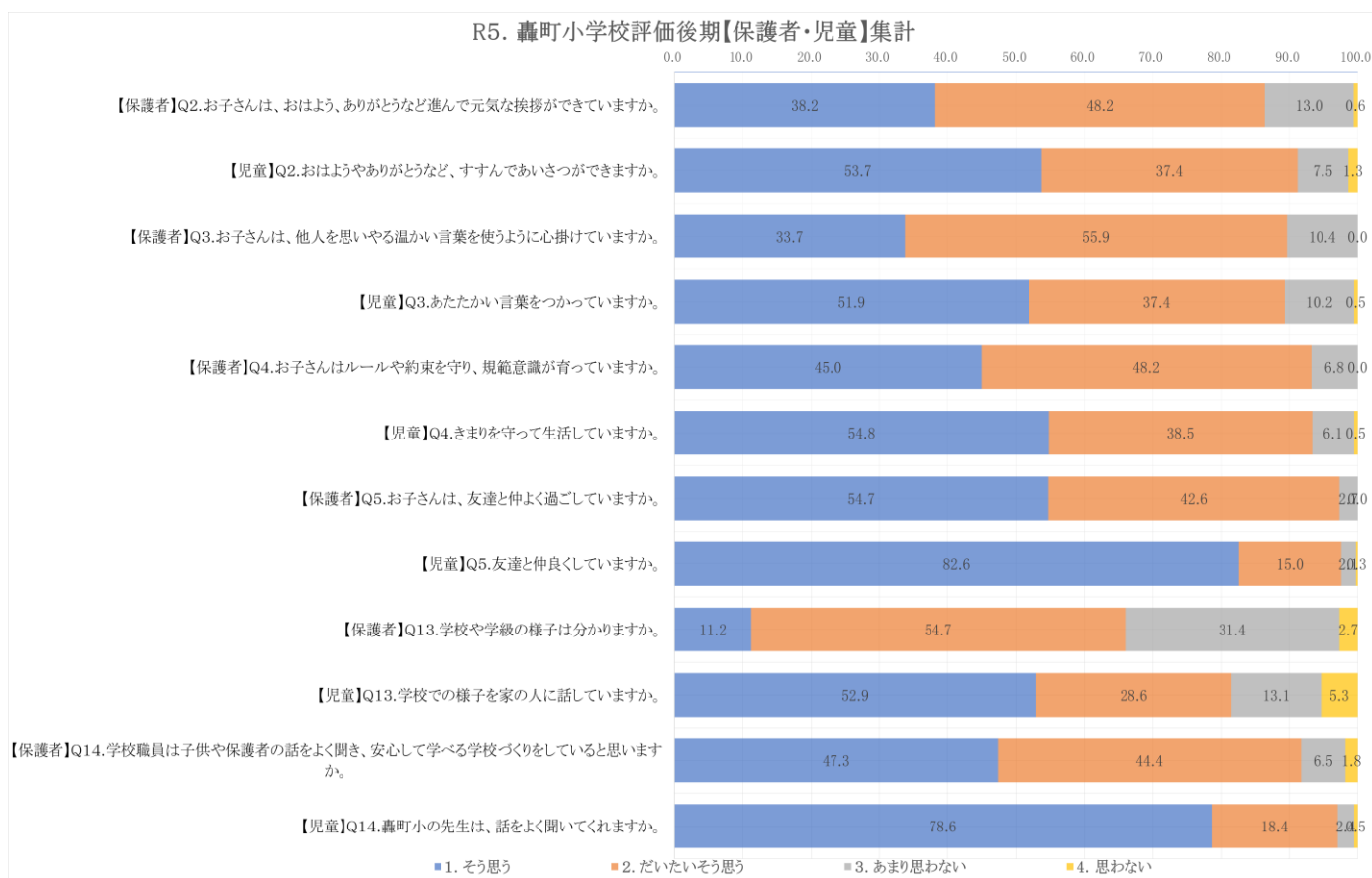
Q9「自分の考えを話したり書いたりして伝えている」の問いは、昨年度に引き続き、他の設問に比べ肯定的回答が保護者、児童共に高くありませんでした。児童の主体性を大切に授業づくりを行うとともに、様々な行事や場面において児童自身が役割を担い、大勢の前で発表や活動、活躍することにより、自信をつけていく機会などを、引き続き数多く作っていきたく思います。



【徳育】 思いやりのある子 ~友達の良さがわかり 思いやりのある子~

笑顔いっぱい『夢広がる学校』心づくり

互いが高め合う『楽しい教室』仲間づくり を 目指します。



昨年に引き続き、Q5「友達と仲よくしている」における肯定的回答の高さが目立ちます(保護者、児童ともに97%)。また、Q14「先生は話をよく聞いてくれる」の児童の97%以上が肯定的回答でした。学校が「楽しい」と思える大きな要素は、やはり「友達と会えて、関わること」と考えます。コロナ禍による制限を経験したり、災害で避難所生活により学校に通えない子供たちの声をメディア等で聴いたりすると、学校の役割の大きさを痛感します。今後も一人一人の子供の思いを受け止めながら、教職員と児童のより強い信頼関係のもと、児童の笑顔が友達同士で溢れ、互いが高め合う「楽しい学校」「楽しい教室」を目指して参ります。「挨拶と温かい言葉が行き交う学校」を目指す中、それに係る Q2 と Q3 の質問項目をはじめ、多くの項目で児童・保護者共にほぼ 90% が肯定的回答です。

Q13「学校や学級の様子がわかる(保護者)」「学校での様子を家の人に話している(児童)」の問いは、肯定的回答は保護者65%、児童81%でした。今年度「情報発信」を学校としての最優先課題として捉え、ギガタブにおける「発表ノート」や「クラスルーム」を活用して、学校での学習成果(スライド、写真、動画等)を積極的に家庭へ発信して参りました。その取組についてご家庭に向けた周知が不足していたと考えています。今後はその周知の仕方を含めて、お子さんの取組や成長を適宜発信できるより良いやり方を検討して参ります。先日行われた第 3 回学校評議員会の中で、保護者の評議員の方が「自分の子供への話の聞き方について考えている。『学校どうだった?』よりも『〇〇の授業やったらいいね。うまくできた?』と聞くことで、子供が答えやすくなる、と知人から言われ、今実行している。」という意見を頂きました。ご家庭それぞれでお子さんとの会話ができる時間の違いはあるかとは思いますが、ギガタブの情報や「学年だより」、「学校だより」などに掲載されている記事の様子を聞くなどして、ぜひ、お子さんと話す機会を増やしていただきますようお願いいたします。また、「学習参観」や「懇談会」、長期休業前の「個人面談」をはじめ、スポーツフェスタや TSS 主催の活動、バザーのお手伝いなど多くの行事に保護者の皆様に参加・参画していただきたいと考えています。学校の教育活動にご理解をいただくとともに、保護者の皆様と連携を密に協力し合いながら、子供たちの健全な成長を育てていけたらと考えます。どうぞ、よろしく願いいたします。



【体育】 たくましい子 ~心身ともに健康で たくましい子~

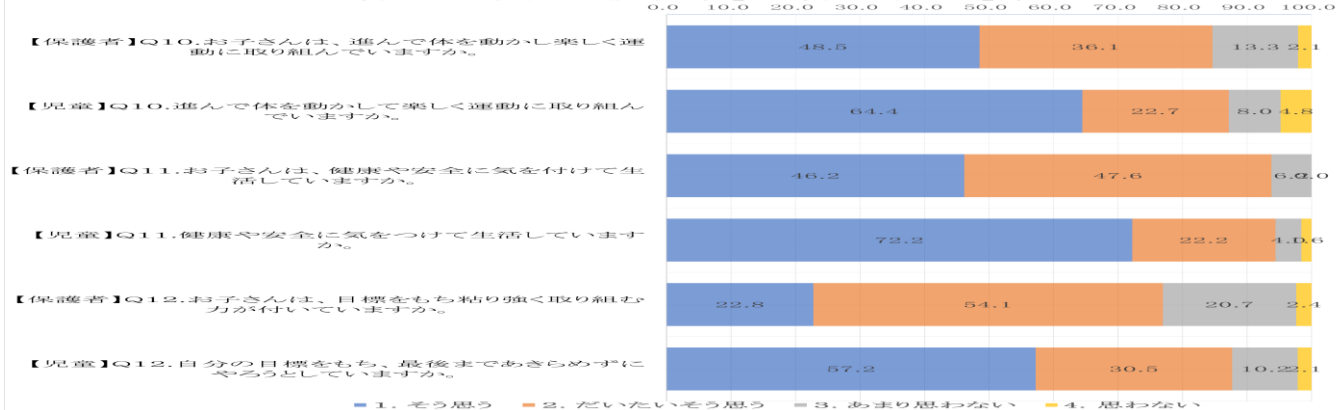
元気でたくましい『とどろきっ子』身体づくり

安心できる『安全な学校』安全づくり

を目指します。



R5. 轟町小学校評価後期【保護者・児童】集計



Q10「進んで体を動かして運動している」という問いに対して、肯定的回答が保護者84%、児童に87%と昨年度から4~5ポイント増加しています。昨年度の大規模改造工事による運動場の使用制限や、今年度、半年間に及ぶ体育館工事による使用制限も無くなったこと、「とどろき山」が開放されたことなど、「運動したり遊べたりできる場所」が広がったことが要因の一つと考えられます。さらに、新しい一輪車やボール、長縄など、「進んで体を動かしたくなる運動用具」がTSSの皆様のご尽力もあり、数多く購入され揃ってきたこと、そして「体育倉庫」が体育委員会の児童が主体的に役割を担いながら開放され、その中の用具を休み時間に自由に持ち出せる環境が整ったことが挙げられます。来年度は、千葉市小中学校体育連盟の指定で、体育科の公開授業が11月27日に予定されています。その機会を目指しながらも、日頃の体育学習を通じて、体を動かす「楽しさ」や「心地よさ」を児童に味わわせ、「もっと運動したい、遊びたい」という想いを持たせることで、休み時間における外遊びの充実をさらに図っていきます。ご家庭においては、昨年度から取り入れた「新体力テスト診断システム」を活用しながら、お子さんの体力の改善や伸びを確認し合っていただき、認めてくださるとありがたいです。学校と家庭の相互で、長期的な視点のもと、児童の体力改善・向上を引き続き目指していきたいです。Q12「自分の目標をもち最後まであきらめない」という問いは、保護者と児童との肯定的回答に、昨年度同様差異が見られました(保護者76%、児童87%)。昨年度の「学校評価考察」でも述べましたが、コロナ禍を経験した子供たちを今後見つめていく大切な点として、子供たちの今の頑張りを認め、達成感や成就感を数多く味わわせることはもちろん、学習結果や成果だけでなく、そこに至る過程を見取り、認めてあげること大切と考えます。Q11「健康や安全に気を付けて生活している」の問いは、保護者93%、児童94%が肯定的回答でした。今年初めに起きた能登半島地震や昨今千葉県付近で頻発している地震を鑑みると、避難経路の確認や引き渡し訓練、方面別集団下校を想定した訓練の重要性を感じます。保護者の皆様のご協力をいただきながら進めて参りたいと考えております。

(参考) R5.轟町小学校評価【保護者】 前期[上段]後期[下段(網掛)]比較表 (%)

	Q1. お子さんは楽しく学校に通っていますか。	Q2. お子さんは、おはよう、ありがとうなど進んで元気な挨拶ができていますか。	Q3. お子さんは、他人を思いやる温かい言葉を言うように心がけていますか。	Q4. お子さんはルールや約束を守り、規範意識が育っていますか。	Q5. お子さんは、友達と仲よく過ごしていますか。	Q6. お子さんは、学校で楽しく学習をしていますか。	Q7. お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていますか。	Q8. お子さんは、人の話を最後まで丁寧にきくことができますか。	Q9. お子さんは、自分の考えを伝える力が育っていますか。	Q10. お子さんは、進んで体を動かして楽しく運動に取り組んでいますか。	Q11. お子さんは、健康や安全に気を付けて生活していますか。	Q12. お子さんは、目標をもち粘り強く取り組む力が付いていますか。	Q13. 学校や学級の様子は分かりますか。	Q14. 学校職員は子供や保護者の話をよく聞き、安心して学べる学校づくりをしていると思いますか。	Q15. お子さんは、学校や家庭においてICT(ギガタブ等)を有効に活用していると思いますか。	Q16. 学校は「自ら考え行動し未来に向かってたくましく生きる力を育んでいる」と思っていますか。
1. そう思う【前期】	58.9	41.9	20.7	43.6	51.1	41.9	26.0	26.0	25.7	48.3	47.2	21.5	14.0	36.9	27.9	21.5
1. そう思う【後期】	56.5	38.2	33.7	45.0	54.7	39.6	26.3	26.0	25.4	48.5	46.2	22.8	11.2	47.3	28.4	24.9
2. だいたいそう思う【前期】	36.0	43.6	67.9	47.5	45.5	46.4	41.6	55.3	50.6	34.9	45.5	53.1	51.1	57.8	47.5	59.5
2. だいたいそう思う【後期】	37.6	48.2	55.9	48.2	42.6	52.4	44.1	54.7	52.4	36.1	47.6	54.1	54.7	44.4	50.0	60.7
3. あまり思わない【前期】	5.0	13.4	10.9	8.1	3.4	11.7	27.7	18.2	22.9	14.2	7.0	23.2	33.2	5.0	21.8	18.4
3. あまり思わない【後期】	5.6	13.0	10.4	6.8	2.7	7.7	24.0	18.6	20.7	13.3	6.2	20.7	31.4	6.5	18.3	13.0
4. 思わない【前期】	0.0	1.1	0.6	0.8	0.0	0.0	4.7	0.6	0.8	2.5	0.3	2.2	1.7	0.3	2.8	0.6
4. 思わない【後期】	0.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3	5.6	0.6	1.5	2.1	0.0	2.4	2.7	1.8	3.3	1.5



【保護者 自由記述より】

「学校として、指導の成果や良い点等」(後期)

- 子どもが、「できないことを努力してできるようになる」ということが多くなったように思います。学校で、先生が励ましたり応援したり、方法を教えてくださったり。たくさん関わってくださっているように感じました。諦めずに努力し続けるとできるようになる、という成功体験が積み重なって、だんだんと、心も体も強くなっていくのではないかと、期待しています。
【学校より】:今年度、「非認知能力」の育成、頑張る「過程」を認めて褒めていくことを、教職員で進めてきた成果がひとつ表れたようで、大変嬉しく思います。今後も児童一人一人認め、励ましながらの指導・支援に努め、子供たちを伸ばして参ります。
- 教科によっては、クラス担任ではない先生が教えてくれるのは、学習の質の向上としてもいいと思います。5,6年生を通して体育を見てくれて、昨年より成長していることを教えて頂いたのは、なかなか細かいところまでわからない親としてはありがたかったです。
【学校より】:教師の専門性を生かした指導体制を、学年に応じながら進めてまいりました。児童一人一人を多くの教職員が目で見守りながらの取組を、引き続き進めて参ります。
- 学級運営において、児童の自主性を尊重して積極的に関わることでできるような指導をさせていただいていると思います。例えば、クラスの係の仕事などで、決まったことだけをするのではなく、児童が自主的に考えたことを先生に相談した上で実行させてもらえる、という経験により、考える力と実践する力、また児童同士で協力する力が育まれていると感じます。先生方にはご負担な部分も多いと思いますが、保護者として、子どもの成長を感じられる一年となり、感謝しております。
【学校より】:学校として大変嬉しいご意見です。児童の「主体性」「自主性」に基づく活動に向けては、教師主導で取り組ませるよりも、大変時間と負担がかかるものです。しかしながら、児童が一度その力を身に付けることは、その後学校生活はもちろんのこと、あらゆる機会でその力を発揮することができ、長期的な視点から「自ら考え行動し、未来に向かってたくましく生きる子供」になる、と考えます。来年度もあらゆる行事でその考えに基づき、児童が中心となる学校づくりに努めて参ります。

「学校へのご意見・ご要望等」(後期)

- ギガタブを持ち帰る日は、ギガタブを使う宿題が終わった後もひたすらいじっていて声かけが入らない。他の宿題が進まないし、かけた時間の割に理解にはつながっていないよう。紙と鉛筆で頭を使って考えたもののほうが身につくように感じる。その他タブレットやゲームなどを与えていないため、余計に興味が集まってしまうと言う我が家特有の事情もあるのかもしれないし、苦手な学習を楽しく学ぶための入り口としてはギガタブも有効な面はあると思う。その上で、学校内での使用に留めてもらえたらと思う。
【学校より】:今年度は、曜日に応じながらギガタブの持ち帰りを行わせていただきました。学年によっては、ドリルパークや調べ学習等の課題を提供し、家庭学習の定着を図りました。一昨年度から導入されたギガタブは、調べ学習や計算等を主体的に行える良さがあり、考えを伝えることのできるツールの一つとしても定着されつつあります。一方で、今までの学校教育で培ってきたアナログ的な伝え方、「話をする」「書く」についても自信をもってできるような学習機会も重要です。併せて、「使い方の指導」(ルールや使用できる範囲の設定)も大きな課題です。これらを踏まえて、より“ベストミックス”された活用方法を今後も模索して参りたいと考えています。
- 以前不審者情報でもありましたが、通学路の途中にある電話ボックスを何とかして欲しいです。ぶつかって危ないですし、通りづらく縁石に上がる子もいます。ベビーカーも通りづらく、前から来る人も見えづらいです。
【学校より】:区の環境事務所によって撤去され、児童が通りやすい歩道になりました。
- 休んだ際の配布物が、登校した際にも配られないままいただけなかったことが何回かありました。面談のアンケート等提出日があるようなものは特に、兄弟姉妹がいる場合はそちらに渡していただくか、休んだ日の分の配布物を机の中等に入れておいていただくなど、配布漏れがないようにしていただけるとありがたいです。
【学校より】:確認が及ばなかった点につきまして申し訳ございませんでした。今後は、各担任による定期的な「机内の確認」や積極的な「すぐる」による配付物の配信に努めていきます。ご家庭におきましても、定期的なランドセル内の確認等行っていただくと有難いです。
- 運動会をもとの形になるようにして欲しい。もし元の形は難しくても、せめて、リレーや応援合戦など、学年が絡んでやる競技がみたい！発表会ではなく、競争をして欲しい。リレーや応援合戦は朝練して努力したり、6年生が仕切ったり、頑張っている子供を成長できるとても良い機会だと思う。強く強く要望します。
【学校より】児童一人一人が自分の目標を立て、学年に応じては児童自身で開閉式の在り方や、種目を考えるなど、子供中心の主体的取組にチャレンジした今年度の「スポーツフェスタ」を、今後も目指していきたいと考えます。今までの「見せる」運動会から「子供が主体的に考え、創り上げていく」スポーツフェスタへのご理解を何卒よろしく願いいたします。

その他、数多くの学校の良い点やご意見をいただきありがとうございました。すべての内容は全職員で共有し、励みになったり、改善点や課題が明確になったりと、有効に扱わせていただいております。

来年度の学校評価へのご協力もどうぞよろしくお願いいたします。